# めぐみ

## ガラシアニュース

http://www.gratia.or.jp/

2019
No.162

目　次

巻頭言「忘れた頃(？)にやって来た天災」
本館解体に伴う安全祈願祭
放射線科の移転に伴い装置が新しくなりました
鎌苅登代子先生の作品が新たに展示されました
ニューライフガラシアだより「作品展」

### お知らせ

- 2019 年 12 月 21 日(土)
  クリスマスコンサート〔老健主催〕
- 2020 年　1 月 16 日(木) 13:00 ～ 14:00
  ガラシア健康教室（7階ガラシアホールにて）
- 本館解体と南館(仮称)建築のため駐車場が少なくなっています。ご迷惑をお掛け致します。ご理解とご協力をお願いいたします。

# 忘れた頃(？)にやって来た天災

医療法人ガラシア会 施設長
石丸　伸司

台風１９号を始め数々の災害が起こった１年でした。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被害にあわれた方々の一日も早い心身の回復をお祈り申し上げます。

阪神淡路大震災から２４年、東日本大震災から８年が経過しました。地震は日本列島全体ではしばしば起こりますが、各々の地域では忘れた頃に突然やってきます。しかし台風は、最近は忘れる間がないほどに襲ってくるようになりました。昨年は台風２１号が関西地区で猛威を振るい、京都北山の木々の多くが倒れ、箕面の滝も長く通行止めになりました。今回の台風では、千曲川と言う大きな河の堤防が決壊し、新幹線車庫が水につかったという事です。枕崎台風（１９４５年）や伊勢湾台風（１９５９年）は各地に大変大きな被害をもたらしましたが、これは戦争で疲弊した当時だったからとも言えました。関東地方は台風の恐ろしさを忘れていたとも言えますが、技術も経済力もある現代の日本でこのような事が起こるのだと改めて自然の威力を痛感します。

古代エジプトで起こった大飢饉に対して、国全体で対策を立てて国民の命が救われた物語が聖書に載っています。

**豊作の七年の間、大地は豊かな実りに満ち溢れた。**
**ヨセフはその七年の間に、**
**エジプトの国中の食糧をできるかぎり集め、**
**その食糧を町々に蓄えさせた。**
**エジプトの国に七年間の大豊作が終わると、**
**ヨセフが言ったとおり、七年の飢饉が始まった。**
**その飢饉はすべての国々を襲ったが、**
**エジプトには全国どこにでも食物があった。**

**（創世記 41-47,48,53）**

豊作が続くといつまでもそれが続くように思ってしまいますが、災害は忘れた頃にやってきます。一人ひとりの力では解決できない事の為に、町単位、国単位で力を合わせて、災害から人々を守るために力を尽くそうとします。命を守るのは勿論ですが、生活手段を失えば人は生きていく事ができません。それに対してヨセフは、飢饉が終わると種を与えて耕作の手立ても整えました。（創世記 47-23）

現代社会では、お金さえあれば必要な物を手に入れることができると皆が信じています。電話やネットで申し込めば、翌日には家に届けてもらえます。しかしひとたび災害が起これば、必要な物がいつ届くかはわかりません。電話やネットも通じなかったようです。その時に実際に頼れるのは、身近なすぐそこにいる人々でしょう。「遠くの親戚より近くの他人」という言葉もあります。

現実は、残念ながら周囲から孤立している方、孤独を選ばれる方がおられます。そして、このような方々を「自己責任」と切り捨てる風潮があるようです。しかし、アダムにエヴァが与えられたように、人間は一人だけで生まれ育つことはありません。孤立や孤独に至った過程で何らかの原因やきっかけがあったのでしょう。イエスは、隣人を愛せよと命じられましたが、『自分によくしてくれる人に善いことをするのは罪人でもする』とも言われています。ガラシア病院の建替えに当たって、直接関わりのあった方だけではなく、神父様やシスター方を通してなど様々な方々からもご支援を頂いています。ガラシア会もまた、災害時に限らず、孤立した方、孤独に閉じ籠っている方々の隣人でありたいと願います。

# 本館解体に伴う安全祈願祭

いよいよ南館建築工事が始まります。その準備としてガラシア病院が大阪市西区から現在の箕面市粟生間谷に移転してから５０年、様々な歴史を支えてくれた本館を解体致します。その工事が安全に進められるよう、土地への感謝、現場関係者の安全を祈るため安全祈願祭が行われました。工事関係者と法人関係者が現地に参集し、当会常務理事でチャプレンの松本神父司式で、祈りと聖水の散水が行われました。２０２０年１月に解体を終え、２月から南館の建築に取りかかります。１年後には、外来と回復期リハビリテーション・地域包括ケア病棟の機能が入った南館となり完成します。駐車場にも新たな木々が植えられ、先に完成した北館と合わせて緑の多い新しいガラシア病院として整備されます。全体の完成まで、仮設運用や駐車場の減少などご利用の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、新しい病院にご期待頂き、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

更新築準備室（事務部長）　福島　成之

# 鎌苅登代子先生の作品が新たに展示されました

１４年前ホスピス開設時のことです。画家である鎌苅登代子先生からの思いもかけないご厚意により、１５点もの作品が旧館５階に運び入れられました。暗かった廊下が明るいギャラリースペースへ一瞬にして変身したことを昨日のように思い出します。

そして今年５月にホスピス（北館）が新築され、またも鎌苅先生より新たな絵１５点をいただくことになり、その一報を聞いて小躍りしたものです。

以上のような経緯で、先日９月２０日、北館ホスピスにすばらしい贈り物が届きました。

当日は搬入・展示レイアウトまで細心の心づかいをくださり、北館２階がさらに素敵な空間へと変わりました。

前回の作品（北館１階展示）は世界を旅するテーマ､今回の作品（北館２階展示）は先生が若き日々を過ごされたフランスの風景をモチーフにしたものです。まるでパリ、南仏、あるいは北仏にいるかのよう、空気、匂い、音まで伝わってくるのが不思議です。

また、ひとつひとつ描かれている風景の思い出を聞くうちに、こちらまで楽しくなってしまいました。鎌苅先生の絵はだれにもある郷愁をかきたててくれる魅力があります。

ひとりで眺める絵もいいですが、だれかと作品を前に語り合い、対話が生まれることはすばらしいと思います。意外な発見があるかもしれませんよ。みなさんもガラシアギャラリーで語り合ってみませんか。

**広報委員会　皆木　典子(臨床美術士)**

ミラボー橋付近と銘された作品
アポリネールの恋の詩とご自身の思い出を重ね合わせて

北館ギャラリー

鎌苅登代子先生 お気に入りの風景とともに

**■ 鎌苅登代子プロフィール**

1937 年大阪市生まれ　洋画家
日本美術家連盟会員・日本ペンクラブ会員
国内外各賞受賞多数
主な作品収蔵場所　大阪城ﾎｰﾙ・大阪大学・高槻赤十字病院・日経新聞社西部本社他
自身の著書・詩画集の他､著名作家の装画を手がける
1990 年紺綬褒章受賞

# 放射線科の移転に伴い装置が新しくなりました

病院の増改築により放射線科が旧本館２階から中央館１階へ移転しました。

移転に伴いＸ線透視装置と骨密度測定装置が新しくなりました。内装も新しく更衣室も増えて利用し易くなっています。

## ■ X 線透視装置

高画質フルデジタルシステムの X 線透視装置です。様々な検査に対応できるように、２面モニタ、動画録画装置、管球のスピーディーな動きを装備しています。

また、被曝量を低減した患者さんにやさしい装置となっています。

特に胃がん検診、嚥下造影検査を更に強化しました。

## ■ 骨密度測定装置（全身用）

最新鋭の骨密度測定装置を設置しました。当院で検査診断、治療を行っていますので、ご希望の方は外来へお問い合せ下さい。

検査部位は腰椎、大腿骨、前腕骨、全身です。検査時間は、約１５分です。

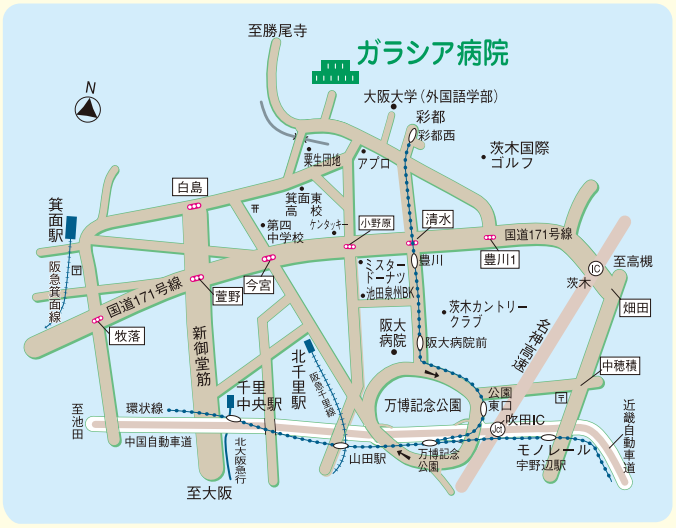
測定結果は骨粗鬆症の診断、治療方針を判断する基準となります。

**放射線科　山本　純也**

# ニューライフガラシア作品展

介護老人保健施設ニューライフガラシアでは「秋の作品展」を１０月１７日～１１月２０日まで中央館４階ロビーにて実施しています。手芸サークルの力作「リバーシブルベスト」、書道サークルの「習字」、折り紙サークルの「浦島太郎」、５階・６階療養棟利用者の「七色のうちわ」「ちぎり絵のいのしし」「ブレスレット」「羽子板」「墨絵」「塗り絵」なども展示しています。ぜひ、お立ち寄りください。

介護老人保健施設ニューライフガラシア
川水　真奈美




医療法人ガラシア会
ガラシア病院　日本医療機能評価機構認定病院

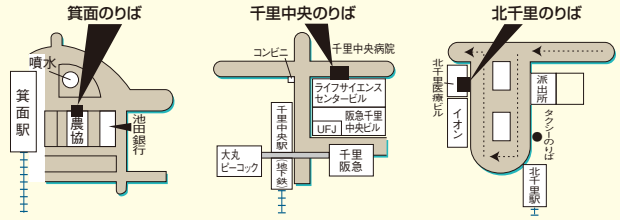
〒562-8567 大阪府箕面市粟生間谷西6丁目14番1号
TEL.072-729-2345　FAX.072-728-5166
http://www.gratia.or.jp/

**■診療受付時間**
平　日／ 8:30～11:30
　　12:30～15:30
土曜日／ 8:30～11:30

**■休診日**
日曜、祝祭日、土曜午後
12/30～1/3

●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〈送迎バス各のりば〉




**ガラシア訪問看護ステーション**
TEL 072-727-1866　FAX 072-729-3311

介護老人保健施設
**ニューライフガラシア**
TEL 072-729-2346　FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所
**ケアプラン ガラシア**
TEL 072-729-2347　FAX 072-729-3311

**箕面市東部地域包括支援センター**
TEL 072-729-1711　FAX 072-730-2230

## 編集後記

北館開設のあと、北館１階デイルームの前にも神父様やボランティアの皆さんにより花々が植えられました。夏にはひまわり、初秋にはコスモスなどが咲いています。表紙の写真は、南面のフェンスに咲いた「パッションフルーツ」の花です。日本ではクダモノトケイとも呼ばれていますが、その名の「パッション」は、キリストの受難という事が由来だそうです。ブラジル原産の常緑つる性植物で、南国の果物というイメージですが、日本でも栽培され、夏・秋に開花し実がなるとの事、ガラシアにも実がなればと期待しています。

N.F

編集・発行　広報委員会